

開会行事(予定)

- 1 開会のことば
- 2 主催者あいさつ (県人教)
- 3 共催者あいさつ (佐伯市)
- 4 実行委員長あいさつ
- 5 来ひん代表あいさつ
- 6 来ひん紹介
- 7 基調提案
- 8 閉会のことば

ヒューライツミュージアム 地元の取り組みを展示

記念講演

【演目】 ネット人権侵害と部落差別の現実

～いま、人権・部落差別解消教育に問われていること～

【講師】 川口 泰司 さん (一般社団法人 山口県人権啓発センター事務局長)

1978年愛媛県宇和島市の被差別部落に生まれる。中学時代、同和教育に本気で取り組む教員との出会いから解放運動に取り組むようになる。大阪の大学を卒業後、(社)部落解放・人権研究所、(社)大阪府新大阪人権協会を経て、2005年より山口県人権啓発センター事務局長として活躍中である。全国各地での講演会や出版、新聞やテレビ・ラジオなどのメディアでも部落問題について積極的に発信している。2023年NNNドキュメントで放送された川口さん主演のドキュメンタリー番組「いるめがね 一部落と差別」は「2023年日本民間放送連盟賞」、「2023年11月ギャラクシー賞」などを受賞した。



その他

(1)「駐車場」について

- 1日め全体会は、地域ごとに指定した駐車場の駐車券を配付しています。車で参加される方は必ず駐車券を持って、指定された駐車場に駐車願います。高速道路出口、会場付近は大変混雑が予想されます。早めの移動へのご協力をお願いします。
- 2日め分科会につきましては会場ごとに駐車場を準備しているため、駐車券は発券しません。

(2)「受付」について (事前申込)

- 大会1日めは、A票 全体会/大会資料引換券を提出してください。
- 大会2日めは、B票を提出してください。
- 両日とも、事前に参加券に必要事項を記入して、提出をお願いします。
- 当日参加の方は、当日参加専用の受付で手続きください。
- 車椅子利用の方の席を準備しております。受付でお声かけください。



(3)「夢見る小学校」上映実行委員会の企画

- 10月31日 (金) 17:30～「夢見る小学校」の上映 (さいき城山桜ホール)
- 上映後は、佐藤信昭さん (玖珠町立くす若草小中学校) 足利光保さん (佐伯市立本匠小学校) ファシリテータ 曾我部尚人さんによるトークショーが予定されています。

◆主催 公益社団法人大分県人権・部落差別解消教育研究協議会
大分県人権・部落差別解消教育連絡協議会

◆共催 佐伯市 佐伯市教育委員会 HF2025実行委員会

◆後援 朝日新聞大分総局 / 一般財団法人大分県教育会館 / 一般財団法人大分県私学協会 / 一般社団法人大分県身体障害者福祉協会 / NHK大分放送局 / 大分県 / 大分県教育委員会 / 大分県教職員組合 / 大分県高等学校教職員組合 / 大分県高等学校PTA連合会 / 大分県公立学校教職員組合 / 大分県国公立幼稚園・こども園会 / 大分県市長会 / 大分県市町村教育長協議会 / 大分県児童養護施設協議会 / 大分県小学校長会 / 大分県商工会議所連合会 / 大分県商工会連合会 / 大分県中学校長会 / 大分県町村会 / 大分県PTA連合会 / 大分県保育連合会 / 大分県立学校事務長会 / 大分県立学校長協会 / 大分県隣保館連絡協議会 / 大分工業高等専門学校 / 大分合同新聞社 / 大分県市町村教育委員会連合会 / OAB大分朝日放送 / OBS大分放送 / 学校法人平松学園大分短期大学 / 学校法人清部学園別府清部学園短期大学 / 株式会社エフエム大分 / 公立大学法人大分県立芸術文化短期大学 / 国立大学法人大分大学 / 社会福祉法人大分県社会福祉協議会 / 社会福祉法人大分県聴覚障害者協会 / 社会福祉法人大分県盲人協会 / TOSテレビ大分 / 西日本新聞大分総局 / 日本文理大学 / 部落解放共闘大分県民会議 / 部落解放同盟大分県連合会 / 別府大学 / 毎日新聞社 / 読売新聞西部本社 / 立命館アジア太平洋大学

※五十音順に紹介 (全48団体後援予定)

第47回大分県人権・部落差別解消教育研究大会ならびに

第10回大分県人権・部落差別解消保育研究集会

ヒューライツフォーラム2025佐伯大会 開催のご案内(最終案内)

公益社団法人大分県人権・部落差別解消教育研究協議会は、2004年以降県内に広く人権文化を根づかせていくため、各地からヒューライツフォーラムとして発信していくこととしました。佐伯市での開催は、2015年以來となります。ヒューライツフォーラムでは県内各地の学校や地域での人権確立をめざした実践について学び、一人ひとりが自らの実践を振り返る機会をもつことで、人権意識の向上や人権のまちづくりを進めています。

また、2016年に「フォーラム人権のまちづくり」が、2018年に「大分県人権・部落差別解消保育研究集会」がそれぞれヒューライツフォーラムに合併し、複数の大会・集会を統合して開催することになりました。このことにより、部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消に向けてより多くのなかまと共に進んでいくように、乳幼児期から社会教育に至るまでの進路保障の取り組みを通して、実践から学び合える場づくりを保障しています。

大会テーマ **差別の現実から深く学び、生活を高め、
未来を保障する教育を確立しよう**

地元テーマ **「誰か」のことではなく、「わたし」のこと！
～部落問題をはじめとする様々な人権課題からみつめなおそう！自分自身を！～**

と き 2025年10月31日(金)・11月1日(土)

と ころ (全 体 会) さいき城山桜ホール
佐伯市大手町2丁目2番28号
(中継会場) 弥生地域コミュニティセンター
佐伯市弥生大字上小倉1157番地2
(分 散 会) 佐伯市内小中学校 他



資 料 代 3,500円

大会日程

	9:00	12:00	12:50	13:45	14:15	16:15
10月31日(金)	準備 リハーサル	受付	開 会 行 事	基 調 演	ヒ ュー ライ ツ フ ォ ー ラ ム	記念講演 前日 打 合 会 参 観 片 付 け
※全体会では手話通訳を行います。						
	9:00	9:30	10:00	12:00	13:00	15:00
11月1日(土)	準備	受付	分 散 会 実践報告	昼食 休憩	分 散 会 実践報告	片付け

HFステージ

わたしたちの人権宣言 (佐伯市内の子どもたち)

「自分を語ってみませんか。」と佐伯市に住む小学校6年生から高校生すべての子どもたちにちらしを配付したり、市報に載せたりした結果、「普段、思っていることを語り合いたい」「自分の人権感覚をもっと磨きたい」などとの思いをもって集まった9人の子供たち。多くの人の生き様を知ったり、豊後大野市の解放子ども会や佐伯こどもミュージカル、仲町こども軽音楽部「Sun Rise」のみなさんと語り合ったりして作成した「人権宣言」を発信します。

HF2025佐伯大会 分科会分散会一覧表

分科会 区分	分科会 番号	報 告 者	報 告 内 容	会場施設
1 乳幼児期	1	由布（義務制） 佐藤 英明 扶幼幼稚園	「つながる」～安心して自分を出せるなかまづくりのために～ 集団の中で自分の思いが伝えないA児。「ありのままの自分」を出せるようになってほしいと願う教職員は、友だちとの関係づくり・園と家庭の連携が必要と考えた。様々な「つながり」を大切にしたい実践の報告。	佐伯小 ふれあい広場 ★上履き
		黒人保 黒人推進委員	「今さら聞けないことはない！～保育のモヤモヤを話しませんか～ 黒人保育より解放保育が大切になってきたことから、現在子どもをまんまに据えた人権保育への流れを紹介しています。各地域での実践を交流しながら「今さら聞けない」と思わず、保育のモヤモヤを話していきたいように。	
2 教育の創造	2	玖珠（義務制） 宝飯 颯太 塚脇小学校	誰もが過ごしやすい学級づくりをめざして Aさんとの関わりの中で、対話することを通して、「児童の気持ちに寄り添うこと」「児童が主体的に活動できる場をつくること」の大切さを学んだ。この学びを「全ての児童が過ごしやすい学級づくり」にいかしていきたい。	和楽 大研修室
		中津（義務制） 外園 孝子 中津小学校	「みんながしあわせな学級」づくり～そろわない前提で共に生きる～ どのような特性を持った子どもであろうと、どのような背景を持った子どもであろうとそこに優劣はない。「人権をベースにした学級経営」とはどうあるべきか。「居れ」を示すA児と、A児を変えたクラスの仲間との事例をもとに考える。	
	3	中津地区（高校） 関 麻海 中津南高校那馬溪校	「先生の視界に入りたい」生徒が自分を大切にすることに向き合うまで 担任だったらできたが、副担任だからできない…ではなく、与えられた立場の中でできるかかわりをその態度態度に考えて生徒に寄り添う営みが「教育の創造」には不可欠であることを気づかせてくれたAとの一年間の物語。	和楽 第1会議室
		竹田（義務制） 牛島 岬 直入小学校	つながりを大切にし、主体的に学び合い、認め合う子ども育成 小規模校の本校は固定化した人間関係の中で、関わりや課題を抱えている子がいる。ひとりひとりの良さを生かし、お互いを認め合いながらつながりをつくり、友だちと学び合う喜びを感じてほしいと願い実践した。	
	4	豊後高田（義務制） 中山 大介 戴星学園	「おれ、今まで相手が何か嫌なことを言っている気がしていただけかもしれない。」 気持ちの行き違いから自分の感情をおさねられずに友だちに対して乱暴な言動をとってしまうAさん。そんなAさんと子どもたちの関わりを受け止め、お互いに言動を振り返り、相手の気持ちを考えようとする姿が見られ始めた。	佐伯城南中 武道場 ★上履き
		日田（義務制） 小野 裕子 東部中学校	「木曾の小林太（日田市人権教育共済教材）」の学習を通して 人権教材「木曾の小林太」の学習の中で差別と向き合い、両者を認容するということロールプレイを設定した。両者の教師とのやり取りを通して、生徒の心の姿が現れた。固定した人間関係の中でも「仲」や「絆」と関係性を築けるようになるために、どのような取り組みができるか、1年間の生徒の成長の報告。	
	5	大分地区（高校） 土谷 充輝 爽風館高校定時制	「高等学校の通級による指導を通して、人とかかわりの成長をめざす」 本校の通級による指導「ライフスキルトレーニング」を通して、生徒一人一人が抱えている困りや苦手を理解し、克服しようとする様子についての実践を報告する。	弥生コミュニティ センター 視聴覚室
		豊後大野（義務制） 吉村 洋人 緒方中学校	自分の考えや思いをいきいきと表現する姿を求めて ～学習カードを活用した課題解決的な単元学習の創造～ 差別を自分の問題として捉え、解決に向けて行動ができることをめざして、「総合的な学習の時間」に位置付け自ら課題を持って調査し、他者とつながり、自分の考えや思いを持つように取り組んだ学習活動の実践報告。	
	6	宇佐（義務制） 伊井 優季 糸口小学校	「友とのつながりを大切に学級づくりをめざして」 友だちとトラブルが起きるがA。Aとの出会いをきっかけに、どのように子どもたちと関わり合い、子ども同士をつなげていけばよいかを考え、担任自身が自らの人権感覚を問いつつ、子ども同士をつないでいった実践報告。	佐伯城南中 体育館 ★上履き
		速見（義務制） 江藤 立郎 川崎小学校	それぞれの思いを認める集団づくりをめざして 多様な思いをもった児童が集まっている教室。そんな教室の中で過ごしているAやその周りの児童の言動から、人間関係の真実が分かる。Aのきつさや困りを受け取ることができると集団づくりをめざして取り組んだ実践。	
3 自主活動・なかまづくり	7	別府（義務制） 武田 尚志 別府西中学校	Aさんとクラスの仲間たち 怒りの感情を抑えられず、クラスメイトとトラブルになることが多いA。クラスや部活動、委員会での活動を通して、クラスメイトや保護者、教員との関わり方を学び、成長してきたAの姿を報告します。	佐伯市役所 大会議室
		豊後地区（高校） 佐藤 美由紀 津久見高校	38名の個性豊かな生徒たちとの3年間 クラス全員と仲の良いお友だちになろうなんて思わなくて良い。しかし、個性を否定せずお互いを尊重しあえる「仲間」になることを目標に過ごした3年間の生徒の成長と担任として努力したことを報告します。	
	8	杵築（義務制） 岩丸 知弘 宗近中学校	互いを尊重し合える学級集団をめざして 生活のきまりを守ることができないAさんに対して、まわりの仲間も本人もそのことを良くも悪くも受け入れている。しかし、それは本当の態度で互いを尊重し合える状態と見えるのか？教職員や仲間との対話や取り組みを通して、Aさんを含めた生徒全員にとって互いを尊重できる学級づくりをめざした実践。	弥生コミュニティ センター 研修室
		津久見（義務制） 武藤 祐太 津久見中学校	「ちがいを」受け入れることの大切さ 新たな人間関係が上手に作れないことから教室に入りづらかったA。「閉ノート」を中心に、彼女が自分の思いを表現し、周りの生徒が彼女を受け入れ、互いの「ちがいを」認めるために、実践に取り組んできた報告。	
	9	大分（義務制） 渡邉 彩子 川崎小学校	「もう1回謝る。本当にごめん」 自分の思いを伝えることが苦手なAさん（仮名）は友だちとのトラブルが多かった。Aさんの困りやきつさをどう受けとめ、信頼関係を築いていくかを、また安心して思いを伝え合うためにはどうすればよいかについて考え、取り組んできた実践報告。	弥生コミュニティ センター 大ホール
		佐伯（義務制） 赤峰 文子 下堅田小学校	「これならできるよ。やってみよう」～「わたしは、もう「ぬるい」って言われたくない！」～ 支援学級に在籍の1年生のA。「困った子」のAを変えようとしていた教師。しかし、本当に変わらなければならぬのは教師自身であり、Aに寄り添い始め、教師、周りの子どもたち、そしてAが変容していった実践。	

分科会 区分	分科会 番号	報 告 者	報 告 内 容	会場施設
4 進路・学力保障	10	くにごさき（義務制） 伊賀上 友里 国見中学校	「個別の支援」をするということ 漢字の読み書きに困りを抱えているが、他の人と違うことが嫌で一人ひとりの努力をして皆に合わせた生徒に押し、本人の気持ちを大切にしたい効果的な個別の支援について考え、SC、SSW、専門機関と連携しながら実践した。	佐伯地区公民館 ホール
		宇高地区（高校） 竹内 満洋 高田高校	「生徒と寄り添う」ということ 「学校にいきたくない」。そんな言葉を生徒から聞いたとき、私たちに何がしてあげられるのでしょうか。少しでも生徒のそばに寄り添い、傾聴し、生徒の学力保障につながればと思い、今までのいくつかの体験談をまとめたと思います。	
	11	臼杵（義務制） 濱田 寛慈 下北小学校	「先生……。」～Aさんとの関わりを通じて学んだこと～ 2年間Aさんの担任を任された。Aさんは以前から行き渋り傾向にあり、その後不登校となる。Aさんと関わった2年間で、学級の児童やAさんへの関わり、そのなかで気づいたことなどをまとめた。	佐伯地区公民館 大会議室
		久太地区（高校） 阿南 佑南 日田支援学校	Aさんとの関わりを通して学んだ成功体験の大切さ 何でも物事を後ろ向きに考えてしまい、自己有才能の低い様子が目立つAさん。他者から認められる体験をたくさん積み、自信をつけて社会へ羽ばたいてほしいと思い、様々な指導・支援にあたった実践報告。	
5 学習・職業・まちづくり	12	別府地区（高校） 吉良 和秀 別府支援学校	「今までと言っていることが違う。もう心配ないと言われても…」 ～新型コロナウイルスに翻弄された子どもたちへの進路保障とは～ かつて放浪を振るい、教育現場や子どもたちを翻弄した新型コロナウイルスも、今では忘れ去られようとしている。新型コロナウイルスが子どもたちに与えた影響や課題、残された課題を進路保障の立場から捉えてみる。	佐伯市役所 第1委員会室
		県南地区（高校） 宮脇 正虎 佐伯支援学校	「自己内省を振り返りながら、将来をどう選び、どう決定していくか」 就労に向けた希望が曖昧なA。自分の得意不得意を見分け、困っている思いが伝えられるよう、自己実現に向けたスキルステップ学習を行った。就労に必要な力を学び、希望する就労先へ決めることができた実践の報告。	
	13	玖珠町（社会教育） 立山 久美子 玖珠町教育委員会	「あたり前」を見直し、気付こう！つなごう！深めよう！～玖珠町人権公開講座の取り組み～ 26年目を迎えた玖珠町人権公開講座。受講者は町立学校に通う子どもたちの保護者を中心に、教職員も多い。講師の思い、受講生による伝えから学習を継続することの大切さを学ぶ。	佐伯小 体育館 ★上履き
		豊後大野市（社会教育） 後藤 修一郎 豊後大野市教育委員会	学びをつなぐ大切さを発信する～豊後大野市社会教育課の取り組みを通して～ 人権課題を自分事として捉え、新たな学びに気づく市民を増やしたいと取り組みを進めています。その大人の学びを、子どもの学びや多くの市民を巻き込む活動につなげたいと思います。指導員のそんな取り組みの一端を報告します。	
	14	国連村地区（高校） 清原 満 日出総合高校	企業と連携する人権教育～どんな人も活躍できる社会づくりの第一歩として～ 日出総合高校の敷地にある（株）ソーニー・太陽。高校生と社員さんが同じ道を通って登校・出勤している。学校のすぐ近く、でもどんな方々が、どんなふうに関わっているのか、知ることから始めたい。そこから社会のありようを考えるきっかけにしたい。	桜ホール 大ホール
		佐伯市（社会教育） 清水 昌和 HF2025佐伯大会実行委員会	「わたしたちの人権宣言」～自分を語る、つながる、「人権のまちづくり」への参画へ～ 人権宣言をもとに、子どもたちが自らの言葉で語り、発信する「人権宣言づくり」を行ってきた。HF実行委員会の構成団体や、連携し進めてきたこの取り組みを、今後の「人権のまちづくり」に向けた活動の契機としていきたい。	

☆会場利用について

- ・常時換気等を心がけていますので、温度の変化に対応できる服装でご来場ください。
- ・各施設には、主催者よりスリッパ等の貸出を取りやめていただいています。上履きをご持参ください。★上履きが必要な会場
- ・分散会会場の近くにお店が少ない場合がありますので、事前に昼食の準備をお願いします。会場での弁当の販売も行いません。

☆分散会会場について

- ・分散会会場間の移動は認めていません。事前に申し込まれた分科会での学びの場づくりにご協力ください。
- ・靴や傘等は、ビニール袋を準備しますので、各日で保持してご参加してください。
- ・子どもたちの学びの場や市民の集いの場を会場としてお借りしていますので、ゴミは各自でお持ち帰りください。
- ・片付けにもご協力いただけますと幸いです。

【お問い合わせ先】

公益社団法人 大分県人権・部落差別解消教育研究協議会
《住所》〒870-0951 大分市下郡496-38 大分県教育会館2階
《電話》097-556-1012

